

FD NEWS

No.24 2008年6月30日
摂南大学FD委員会
〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8
TEL: 072-839-9106
E-mail: kyomu@ofc.setsunan.ac.jp

摂南大学 

FD活動，第二世代への指向

教務部長 渡部一仁

「FD活動とは“floppy disk”を利用した講義ですか？」
さすがに最近は大学内で「FD」は定着化しており、このような誤解はない。しかし、「FD」と横文字で表現されると何となく解ったような気がするが、実は正確に内容を把握している教員は少数派ではなかろうか。

FDが大学教育で義務化されたのは周知のとおりであり、さらに大学院においても義務化されている。改めて述べるまでもなく、FDは次のように定義されている。すなわち、「各大学は、個々の教員の教育内容・方法の改善のため、全学的にあるいは学部・学科全体で、それぞれの大学等の理念・目標や教育内容・方法についての組織的な研究・研修（ファカルティ・ディベロップメント、FD）を実施するものとする」とされている（2008年大学設置基準第25条の3—FDの義務化）。

大学全入時代を迎え「質の保証」が求められているなか、本学では新生の学力低下、勉学のモチベーション低下、キャンパスマナーの欠如など多くの問題を抱えている。この様な状況を鑑み、本年度から、①「入口」での学力確認、②「学士力」の充実、③出口管理の3項目をセットとして最優先に取り組むこととし、その一環として「初年次教育の体系化」を検討課題と位置づけ、アクションプランを作成して具体的な行動を起こしつつある。大学の教育力を高めるには、偏に教員の力に依存していることは言うまでもなく、その中心的役割を担うのがFDである。本学においてもFD委員会が中心となり、様々な活動を企画・立案し実践しているが、授業アンケートさえ行っていればそれで十分との雰囲気を感じられる面もある。しかし、上記の通り、FD活動は教育に係わる多面的な内容を含んでおり、大学の“教育力”の根幹を成すものである。本学ではFD委員会をさらにスモールグループに分け、FD活動の活性化に向けて積極的に取り組んでいるが、残念ながらその内容が全教員に伝わっておらず、また成果も顕在化していない面がある。

私は、第1回委員会において今年度のFD活動の重点項目として、（1）従来の授業満足度アンケート調査から、その結果をいかに平素の授業にフィードバックするか、（2）教育手法の改善・開発と教育力の向上に向けた全学的な取り組みをスタートすることを提案した。具体的には、①アンケート結果を積極的に授業にフィードバックするために必要な処置を行う、②授業評価体制の再構築（非評価者は授業担当者、評価者は学生（授業満足度）および教員（公開授業））、③授業改善に向けた全学レベルおよび学部レベルでの教員相互研修（学内・学外FDフォーラム）の積極的な参加に向けた工夫、④教員の授業スキルアッ

プ支援策の構築とシステムの開発、⑤新任教員研修の導入、⑥“教育力”アップのための情報提供システムの構築、などである。

本学のFD活動は、授業アンケートの完全実施の時代から教育力の向上を指向する第二世代に移行しつつあるが、そのためにも教員諸氏の積極的なFD活動への参画と実践を期待するところである。

以上

全学FD委員会には、4つのSG (Study Group) があり、SG1は「授業アンケート」、SG2が「授業改善」、SG3が「情宣」、SG4が「教員研修」活動を主として担当している。

以下、各SGのリーダーに「2008年度の活動方針及び取組み課題」等について述べていただく。

SG1 2008年度活動方針―「学生による授業アンケート」について―

全学FD委員会 委員長 SG1リーダー 八木俊策（工学部）

本アンケートは本学の教育力を測定し、本学で開講する授業の教育方法を継続的に改善するための組織的なFD活動の推進を目的として、2002年度から実施されている。

実施対象は昨年度と同様に、ゼミ・実験・演習および履修者数・回答者数が10名以下の科目を除く全授業科目である。ただし、これ以外の科目についても、学部・学科・教員が必要とする場合は実施できる。

実施日程は前期が2008年6月23日(月)～7月5日(土)、後期が2008年11月25日(火)～12月8日(月)の各2週間である。アンケート実施方法は昨年度と同じであるが、アンケート内容については、学園3大学の共通質問項目を含むように一部変更された。この変更点にも留意して、アンケート結果の分析を行いたい。

集計結果等の取扱いに関しては、昨年度と同様に、(1)各授業担当教員への結果の報告、(2)各学部・学科への結果の報告、(3)摂南大学内の掲示による公開、(4)摂南大学ホームページ上の学内公開（公開希望科目のみ）とする。なお、公開希望科目の調査は、各学科長・教室主任が担当教員の公開希望科目を取りまとめて、教務課に回答する方法で行う。

今年度のSG1では、これまでの継続的な課題である「授業アンケート結果を授業改善に活用する方法」について引き続き検討を進める。またWebアンケートに関して、他大学での実施状況、本学での実行可能性と活用方法等について検討する予定である。

以上

SG2 2008年度の活動目標について

全学FD委員・SG2リーダー 有馬善一（経営情報学部）

今年度も昨年度と同様にSG2は、「授業公開」と「FDフォーラム」を柱として活動する。

まず、授業公開については、各学部で取り組んできた経緯を踏まえれば、今年度も過年度同様、各学部の主体性がまず尊重されなければならない。ただし、現状について参加者数、実施効果などの点で、やや行き詰まり感が否めないのも事実である。そこでSG2と

しては、今年度は授業公開のあり方そのものについて再検討することを課題とする。具体的には、他大学の授業公開に対する取り組み等について調査を実施したい。

次に、FDフォーラムについては、昨年までの成果を踏まえ、今年度も引き続き「基礎教育」をいかに充実させるかということを大きなテーマにして開催する予定である。特に各学部が実施している基礎教育と全学レベルで行おうとしている基礎教育の間でどのように連携を図るべきかという問題は、今後、避けて通れないものであると思われる。

ただし、どのようなテーマがフォーラムに相応しいか、今後さらに検討を進めていく。

以上

SG 3 2008 年度 活動方針及び取り組み課題

全学 FD 委員・SG 3 リーダー 紙 博文（経営情報学部）

FD 活動の情宣（広報）担当として以下の活動をする。

(1) FD ニュースの充実

① 本学 FD 活動の現況を広報する。

- ・年 3～4 回の「FD ニュース」の発行
- ・魅力的な「巻頭言」の企画
- ・各学部 FD 委員会の活動状況の報告

② その他

(2) Web サイトの充実にむけて

- ・過年度分のサイト更新
- ・今年度のトピックの配信

(3) その他

なお、Web サイトに関しては、その立ち上げ、サイトの構成（形式フォーム）等については、既に 06 年度の全学 FD 委員会で承認済みであるもののメンテナンス、リンク先、各学部の FD 情報との関係等の課題があったためか、07 年度は全く動いてはいない。SG3 としては、まずは昨年度までのデータ更新を行うこととし、上記の課題については改めて全学 FD 委員会で議論したいと思う。

以上

SG 4 2008 年度 活動方針及び取り組み課題

全学 FD 委員・SG 4 リーダー 牧田 勲（法学部）

SG 4 は、授業内容や方法の改善を図るための組織的な研修・研究を課題とする。既に全学教務委員会委員長より、本年度は特に「新任教員のための研修プログラム」の作成に取り組んで欲しい旨の宿題を頂戴しているので、10 月初めくらいをめどにその完成を目指したい。当面はその準備のために、他大学の「新任教員研修」の情報収集、先進的取り組みについての研究、これまでの摂南大学の実態や既存データの確認などを行う予定である。

また、これと平行して、「研修プログラム」の構築に着手する。すでにその骨組みとして「摂南大学についての基本知識」「教育」「研究」の 3 部構成とすること、それぞれの研修内容についても全学 FD 委員会において提示しているが、この素案をたたき台として、さ

らに充実したものにするべく検討を加えたい。

なお、昨年度実施された授業改善事例アンケートが未処理となっているが、FD ニュースで紹介していただくか、あるいは「新任教員研修」における授業スキル向上のための研修用教材として活用させていただくことを考えている。

以上

第 13 回 摂南大学 F D フォーラムの実施報告（概要）

2007 年度全学 FD 委員会 委員・SG 2 担当 有馬善一（経営情報学部）

2008 年 3 月 17 日（月）13：00～17：00、寝屋川学舎 5 号館 5 階 552 教室において、第 13 回 摂南大学 F D フォーラムが開催された。

「摂南大学における教育・研究の再構築Ⅱ——学生の日本語コミュニケーション力をどう鍛えるか？」というテーマの下に、第 1 部はシンポジウム形式で、姉妹校の広島国際大学・森口氏（テクニカルコミュニケーション論）の「テクニカルコミュニケーションから見た日本語教育」と題した基調講演、続いて、教務部長 渡部氏の「摂南大学における日本語教育の取組み・課題・将来計画」、就職部長 北村氏の「変化へのサポート——社会人としてのコミュニケーション能力——」と題した報告がなされた。

第 2 部では、報告に対するコメントと質疑応答が行われた。コメンテーターは、小川氏（L 部）、秋澤氏（Y 部）、有馬氏（I 部）、島田氏（T 部）であった。質疑応答では、基調講演者、報告者に対してフロアーからも活発な質問・意見が出され、有意義な議論が行われた。

なお、フォーラムの詳細な報告については、現在報告書を作成中であり、完成次第しかるべき仕方で開催する予定である。

以上

【編集部より】

*** 今年度（2008 年度）の全学 FD 委員会メンバーは次の先生方です。**

FD 委員長 八木 俊策

SG 1：八木俊策(B)、橋本正治(M)、原 秀禎(L)、藤井一弘(I)

SG 2：有馬善一(I)、島田伸一(数物)、太田義器(L)、秋澤俊史(Y)、木村和成 (J)

SG 3：紙 博文(I)、西村一郎(A)、片田喜章(E)

SG 4：牧田 勲(J)、瀬良昌憲 (C)、朝日素明(L)、河野武幸(Y)

(先頭は SG リーダー)

(オブザーバー：教務部長 渡部 一仁)

*** 2008 年度の前期授業アンケートが、6 月 23 日（月）～7 月 5 日（土）まで行われます。**
今年度から、3 大学（大阪工大、摂南大、広島国際大）共通の質問項目が新たに加わり
ました。

FD 委員会から

- * 皆様からのご意見を紙面でも紹介したいと考えています。随時、メールで結構ですから、FD 委員もしくは教務課（kyomu@ofc.setsunan.ac.jp）までお寄せ下さい。
- * 次号の FD ニュース第 25 号は 2008 年 10 月頃に発行の予定です。